

1. 研究課題名： アジア規模での生物多様性観測・予測・評価に関する総合的研究

2. 研究代表者氏名及び所属：
矢原徹一（九州大学大学院・理学研究院）



3. 研究実施期間：平成 23～27 年度

4. 研究の趣旨・概要

本研究では、アジアにおける生物多様性の現状を評価し、その損失を防ぐための政策提言を行うことを目標として、種・遺伝子多様性、森林・陸水・生態系に関する、アジア規模での生物多様性観測を実施する。定点調査地における現地調査の結果を、リモートセンシングや標本情報にもとづく広域観測データと統合し、分布モデリング・絶滅リスク評価などの手法を用いて、「アジアのどこで、どれだけの損失が、どのように進んでいるか」を評価する。

これにより、アジアにおける生物多様性損失を減らすうえで有効な対策、およびその優先順位の決定に科学的根拠を与え、国際的な生物多様性アセスメントや我が国の生物多様性国家戦略改訂などに貢献する。

5. 研究項目及び実施体制

- ①生物多様性評価予測モデルの開発・適用と自然共生社会への政策提言（東京大学）
- ②アジアの森林における遺伝子・種多様性アセスメント（九州大学）
- ③アジア地域における生物多様性劣化が生態系の機能・サービスに及ぼす影響の定量的説明（東北大学）
- ④陸水生態系における生物多様性損失の定量的評価に関する研究（国立環境研究所）
- ⑤海洋生態系における生物多様性損失の定量的評価と将来予測（京都大学）

6. 研究のイメージ

